

- フォルクワーゲングループジャパン、「ポロ(1.0/70kW)」の駐車ブレーキに不具合があるとしてリコール
17年12月25日～18年12月8日に生産した9666台
駐車ブレーキ装置の組み付け作業指示が不適切だった為、ブレーキレバーとブレーキケーブルの接続部に緩み留め防止ナットが付いていない。その為、走行振動等により接続部が緩み、駐車ブレーキの引き代が大きくなり、最悪の場合、駐車ブレーキが効かなくなる恐れがある。
- 三菱ふそうトラック・バス、「スーパーグレート」「エアロエース」「エアロクイーン」のリヤブレーキに不具合があるとしてリコール
エアサスペンション装着車両において、リヤブレーキシューを固定しているスプリングの設定が不適切な為、走行時の振動入力によってシューが振動して、シュークリアランスを調整するアジャスターを保持しているクリップを叩き、クリップが変形又は破損することがある。その為、そのままの状態で使用を続けると、シュークリアランスが増大し、最悪の場合、リヤブレーキの制動力が低下する恐れがある。
15年11月10日～19年3月8日に生産した1万21
- アウディジャパン、「A4 1.4TFSI」の燃料パイプに不具合があるとしてリコール 16年9月15日～17年6月3日に輸入した578台
燃料パイプの取付けボルトの締め付けトルクが不足しているものがあることが発覚。走行振動等によりボルトが緩み、最悪の場合、燃料が漏れる恐れがある。
- BMWジャパン、「X1 xDrive」等計3機種 of テールライトに不具合があるとしてリコール 18年9月19日～12月4日に生産した796台
左右テールライトの取付ナットが、洗浄不十分の為、残留物が残っているものがある。その為、残留物によりテールライト取付部が破損し、最悪の場合、テールライトが走行中に脱落する恐れがある。
- ポルシェジャパン、「718」シリーズ6車種の車体前部の強度が不足しているとしてリコール 16年4月5日～19年2月7日に輸入した3424台
車体製作時の溶接行程にて、公差の設定が不適切な為、車体前部の強度が担保できていないものがある。その為、前面衝突時に衝撃が吸収できず、燃料が漏れる恐れがある。
- メルセデス・ベンツ日本、「Cクラス」等計12車種のシートベルトバックルに不具合があるとしてリコール 18年8月6日～10月25日に輸入した558台
シートベルトの差し込みを検知する内部スイッチの曲げ加工が不適切な為、装着を正しく認識しないものがある。その為、衝突時にシートベルトテンションが作動せず、乗員を適切に拘束できない恐れがある。
- メルセデス・ベンツ日本、「Sクラス」等計7車種の電動パワーステアリング及びステアリングコラムブーツに不具合があるとしてリコール
17年3月2日～18年10月31日に輸入した1259台
電動パワーステアリングの制御プログラムが不適切な為、またステアリングシャフトブーツの取付作業指示が不適切な為、運転支援システムの作業中にステアリングから手を離れた際に警告が出ないことがある。その為、車両を完全に停止させるシステムが作動しない恐れがある。

